

経営支援機関向け

「実践型企業支援力習得プログラム」 ご案内資料

(セミナー・伴走型個別サポートのご案内)



01 施策の背景

企業課題

- 人材採用が困難になる中でフルタイムの雇用にとらわれず、多様な人材の確保・育成・活用が重要視されるものの、従来の一般的な正社員とは異なる採用プロセスへの対応、正社員とは異なるリスク管理、多様性と自社文化への適合性、採用実務者の意識の変革、多様な人材プールへのアクセス障壁など、**知識・ノウハウが不足するゆえのオペレーション上の課題**が中小企業等にとって存在する。
- 経営課題の背景に人材の問題が潜んでいることが多いため、中小企業等が成長・発展を実現するに当たって、**経営課題にさかのぼって人材需要を検討することは重要ではあるが、時間的にもマンパワー的にも難易度が高い**。しかし、今後ますます厳しくなる人材獲得競争の中で自社に必要な人材を継続的に確保するためには必須の活動である。

経営支援機関による支援の必要性和課題

- **中小企業等が自社だけで**上記二つの企業課題を解決し、多様な人材の確保・育成・活用に**取り組むには限界がある**。
- 地域都市では人材ビジネスサービス事業者の数も少なく、支援の不足およびコスト高騰が生じていることから、**経営支援機関による人材活用に係る支援がますます重要になっている**。



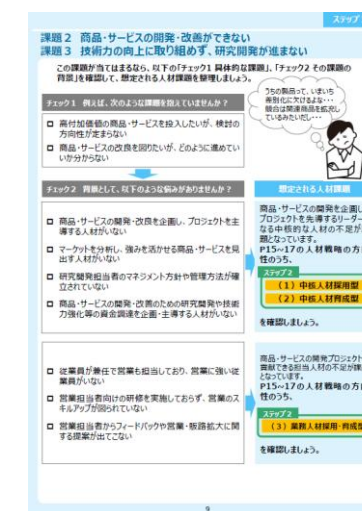
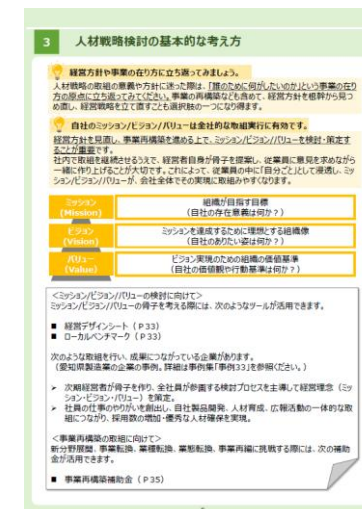
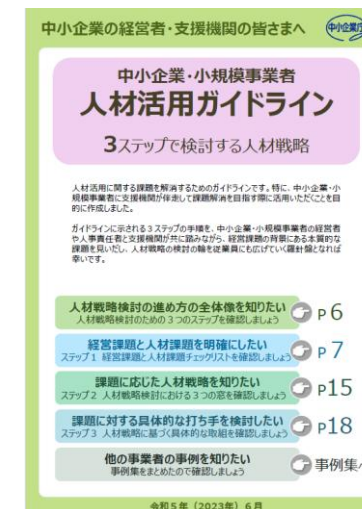
02 経営支援における現場のご意見

現状・課題	詳細
若手スタッフにおける専門ノウハウの不足	企業相談対応や経営支援に関する専門的なノウハウが若手スタッフにおいて不足している。
教育と実践のギャップ	職員向けの講習や研修はあるが、実際の業務での実践機会が不足している。
対人スキルとコミュニケーション能力の向上	特に、初対面の相手とのコミュニケーションスキルや、伝え方・聞き出し方に関するスキルが求められている。
サービスの質の底上げ	組織全体の一貫したサービスレベルの向上と属人化の解消。
経営支援の具体的なツールの必要性	特に小規模事業者に対する、実践的なサポートツールが必要。
人材育成と定着	企業が行う採用後の育成・定着のサポートが必要。

03 経営戦略と人材戦略の一体的な検討・策定・実行への支援に向けて

人材活用ガイドライン

- 経営支援機関における支援力向上、人材分野への支援範囲拡大に向けて令和5年に「**中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン**」を公表。
- 上記ガイドラインは、人材活用に関する課題を解消するために作成され、**経営課題の裏に潜む人材需要を明らかにし、最適な人材を獲得～活用することで、経営課題の解決を試みる一連の流れを戦略的に計画するもの。**
- 「**経営戦略と人材戦略の一体的推進に挑む事業者を応援する**」、「**人材戦略の専門家がない経営支援機関でも活用できる**」という特徴を持ち、ガイドラインに示される3ステップの手順を、**中小企業・小規模事業者の経営者や人事責任者と経営支援機関が共に踏みながら、経営課題の背景にある本質的な課題を見だし、人材戦略の検討の輪を従業員にも広げていく羅針盤として活用することが可能となっている。**



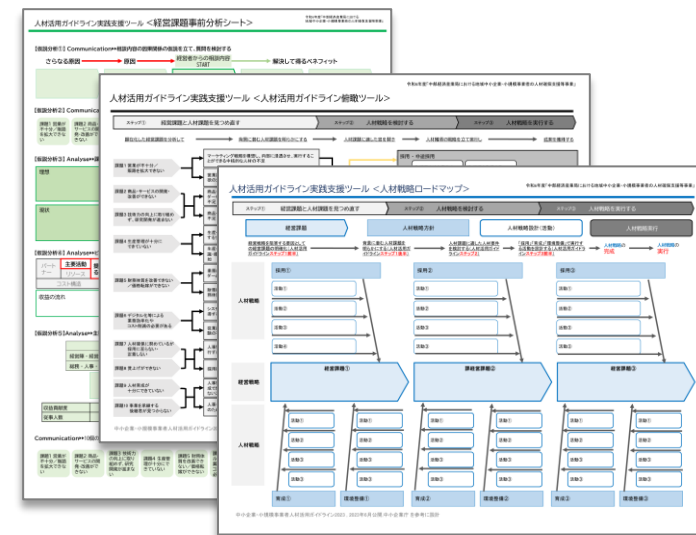
中小企業庁 中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン

04 経営支援現場での活用に向けた支援ツール

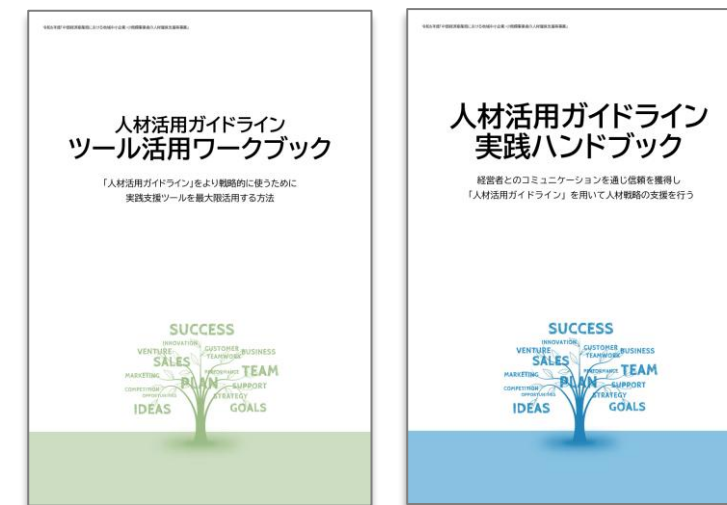
「中小企業・小規模事業者 人材活用ガイドライン」を、経営支援機関等の皆様がより有効に活用できるよう、
中部経済産業局は「人材活用ガイドライン活用支援ツール」を作成

人材活用ガイドライン活用支援ツールとは

- ✓ 「人材活用ガイドライン活用支援ツール」は人材活用ガイドラインを経営支援の現場で戦略的に活用することを支援する3種のツール。
「人材活用ガイドライン俯瞰ツール」と「経営課題事前分析シート」と「人材戦略ロードマップ」からなる。
- ✓ また、その3種のツールと人材活用ガイドラインを使った実践的な経営支援の手法を動画やワークから学べるワークブックと、
人材活用ガイドラインを使った人材戦略構築のポイントや背景知識などを学ぶことができるハンドブックを作成している。



人材活用ガイドライン活用支援ツール



ツール活用ワークブック／実践ハンドブック

05 企画の概要

実践型企業支援力習得プログラム

中部経済産業局は、「人材活用ガイドライン」の普及を通じて、経営支援機関等が経営戦略と人材戦略の一体的推進のノウハウを習得し、経営課題解決の支援力を向上させることを目指すとともに、「経営者の真の課題を引き出すためのコミュニケーション方法」など、**現場で活用できるスキルの向上を支援します。**

プログラムについて

01	『人材活用ガイドライン』を使いこなす！ 企業支援ノウハウ習得セミナー
02	経営課題を解決する人材の新常識を学ぶ！ 副業・兼業人材活用ノウハウ習得セミナー
03	人材活用ガイドラインや活用支援ツールの具体的な活用方法・ノウハウを習得！ 伴走型個別サポート(2機関対象)

本プログラムの参加対象

富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県の金融機関・商工会議所・商工会・よろず支援拠点等の経営支援機関の方

特にこんな方におすすめです

経営支援機関等の企業支援のご担当者様で、

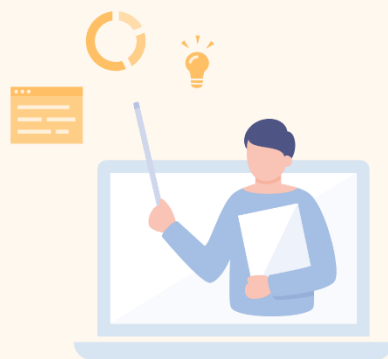
- ・ 経営者からの経営相談や人材相談の対応経験を今後積んでいく方
- ・ 現場で活用できるスキルやノウハウを学びたい
- ・ 経営課題解決の新たな手法を学びたい方
- ・ 人材活用支援の知見を深めたい方

企業支援に必要な知識習得から実践スキル習得までトータルサポート

06 企画の詳細

01

企業支援ノウハウ 習得セミナー



中小企業庁が作成した「人材活用ガイドライン」や「人材活用ガイドライン活用支援ツール」をもとに、中小企業の経営課題分析方法から解決に向けた人材戦略検討のソリューション等の提案までの、企業の経営課題解決に必要な手法やノウハウを紹介します。

日時 2025年10月2日（木）
14:00～16:30

02

副業・兼業人材活用 ノウハウ習得セミナー



今後ますます注目が集まる『副業・兼業人材』の活用方法を企業に対して経営課題解決のソリューションとして提案できるように、具体的な活用手法やツール等のノウハウと、外部人材を活用するうえで重要となる業務の切り出し方法の紹介や外部人材の活用状況をご紹介します。

日時 2025年10月30日（木）
14:00～16:30

03

伴走型個別サポート (2機関対象)



伴走型個別サポートは、座学で学んだことを企業に提供できるようになるためのサポートプログラムです。本プログラムでは、お申込みいただいた機関に合わせて、経営課題解決に向けた人材活用支援を行うためのワークショップを実施し、その後、企業訪問によるOJTサポートを行います。企業訪問前には、事前準備から実際の対話の進め方、訪問後の分析およびソリューション提案の最終検討まで、人材支援の専門家が一貫してサポートします。

※「企業支援ノウハウ習得セミナー」・「副業・兼業人材活用ノウハウ習得セミナー」は、いずれもオンラインにて開催いたします。（Microsoft Teamsにて配信）

07 本プログラム参加の4つのメリット

経験が浅い支援員の 企業支援実践スキルを向上！

人材活用ガイドラインの実践的理解により、経営戦略と人材戦略を一体化して検討・策定・実行することを可能とする総合的な支援実践スキルの獲得が可能です。



課題解決のための 採用支援が可能に！

「人材活用ガイドライン活用支援ツール」を用いたワークにより、経営課題の明確化、求人像の明確化などの支援が可能となります。特に副業・兼業人材にフォーカスすることで「経営課題解決のための人材確保支援」が可能となります。



経営者とのコミュニケーションを取るうえでの、 会話のポイントが学べる！

各種ツールをもとにした実践により、具体的な方法論(支援のポイント・ノウハウ)や背景理論の獲得が可能となっています。



伴走型個別サポートで、企業支援の現場から ノウハウを習得可能！

伴走型個別サポートでは、事前のワークショップを行ったうえで、企業訪問の現場へ伴走支援させていただくため、机上の学習と実践の場での経験を積むことができ、知識・ノウハウの習得を強化します。

